令和３年度　現職研修助成事業（学校研修の部）報告

申請者　防府市立牟礼中学校
教頭　　江頭　克友

１　研修主題および設定の意図

『生徒の学びと育ちを地域ぐるみで支えるためのカリキュラムの工夫』
～地域に誇りと愛着をもつ生徒の育成をめざして～

本校が位置する防府市牟礼地区には牟礼協育ネット（通称　牟礼ミラタクネット）があり、本校もその一員である。また、牟礼小学校との牟礼地域小中連絡協議会も定期的に開催しており、小中一貫教育を念頭に置いた取組を進めている。一昨年度来、これらの組織との連携を強化し、地域行事等へ生徒ボランティアを派遣することで教育課程外の活動を充実させてきており、今年度は、研究の３年目を迎えている。今年度は、カリキュラムマネジメントを本校研究の柱の １ つに据えており、地域連携強化とともに研修を重ね、地域に誇りと愛着を持つ児童生徒を育成したいと考えている。

２　研修内容

（１）　牟礼協育ネットとの連携強化

牟礼協育ネットとの連携を強化し、課題と成果を確認しあいながら、カリキュラムマネジメントをもとにした「学校・地域連携カリキュラム」の充実を念頭に置いた研修を進めている。

①　地域と連携したボランティア活動の一層の推進

地域で行われる教育活動を、地域と連携した教育を実現する貴重な場と位置づけ、牟礼地区の運動会や夏祭り・文化祭など、地域で行われる行事や牟礼協育ネットが主催する行事に中学生がボランティアとして積極的に参画することにより、関係機関・団体、地域住民と連携して地域に貢献する機会を子どもたちに提供することを意図した。

しかし、今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響で、ほとんどの地域行事が縮小、中止となり、ボランティアの機会を提供することはできなかったことが残念である。
様々な行事が中止される中、今年度は新たに地域の敷山清掃へボランティアとして参加することができた。参加した生徒は、地域の方からの感謝の言葉に、自分たちの活動に

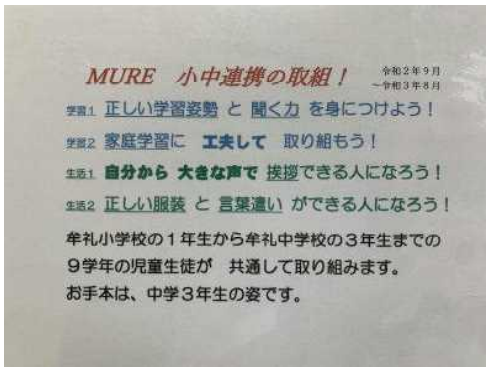
誇りをもつことができた。また、地域の一員としての自分たちの役割を自覚することもできた。来年度以降、このコロナの状況が終息し、子どもたちがまた地域ボランティアとして積極的に活動することができるよう願うばかりである。

② 地域協育ネット主催の英会話教室へのボランティア参加

牟礼地域協育ネットである牟礼ミラタクネットからボランティアの派遣要請を受け、防府市教委のＡＬＴを講師として牟礼公民館で開催している、小学生対象の英会話教室『英語 ｄｅ 遊ぼう』は、コロナの影響を受けつつも、今年度は１回開催できた。ＡＬＴのサポートとしてボランティア活動を行い、小学生やその保護者とも交流を深めることができた。小学生の参加者も中学生のボランティアも回を重ねるごとに増えてきており、今後も活動を継続していきたい。また、今後３月には、『楽器にふれてみよう』という体験活動へのボランティアの参加を計画中である。

（２） 牟礼地域小中連絡協議会との連携強化

本校の校区には牟礼小学校があり、その卒業生が本校に進学してくる、いわゆる一小一中という関係になっている。そこで、牟礼小学校と牟礼中学校とで牟礼地域小中連絡協議会を設置し、学習指導・生徒指導両面においての共通実践目標を設定したり、関係する諸問題を協議したりしている。会には両校の職員に加え、両校の学校運営協議会の会長にも参加していただいている。学校外からの視点で意見をいただけ、多角的に指導の在り方を議論することができている。



また、今年度も、両校の全教室に小中一貫教育を念頭においた共通実践目標を掲示し、９年間の学びと育ちの姿を小中で確認しながら行えるようにしている。

① 小中一貫教育を念頭に置いた牟礼小学校６年生の中学校体験入学

今年度は１１月に牟礼小学校６年生全員を対象にした半日体験入学を実施した。これは、中１ギャップの解消とともに小中のスムーズな接続を目指す取組である。

中学校の授業体験や中学生の授業の様子見学、本校生徒会が推進している無言で清掃活動を行

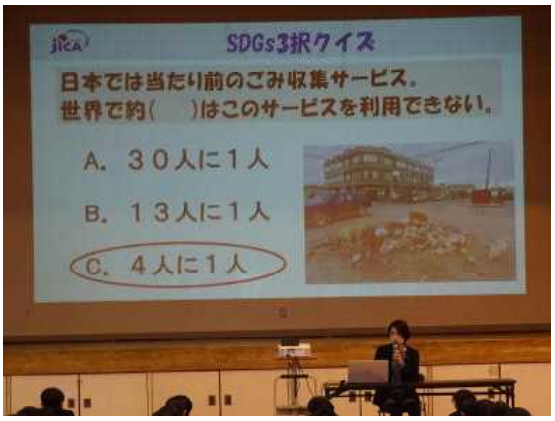
う『無言清掃』、部活動の様子を見学した。本協議会の目標に「お手本は、中学３年生の姿です。」とあるように、実際に自分たちの目で、姿勢を正し真剣に授業を受けたり、無言で掃除をする中学３年生の姿に小学生は感銘を受けたようで、その思いを感想文に見ることができた。

また、小学校の教員が中学３年生の姿を具体的に目にすることで、目標とすべき姿が明確になり、牟礼地域９年間の成長のイメージを共有できた。小学校と中学校の教員同士が意思疎通を図り、児童生徒の成長に繋げる一助となっている。

（３）　ICT を活用した研修の充実

夏季休業中や２学期に、地域連携教育やカリキュラムマネジメントに関する研修会へ参加し、校内研修の活性化を図ることを意図していたが、これも昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響で、ほとんどの研修会、研究発表会が中止や Zoom 等を利用したオンライン形式となった。また、これからの時代を切り拓く子どもたちに求められる情報活用能力等を育成するため、GIGA スクール構想の実現に向け、その基盤となる教育 ICT 環境の整備が進められている。

さらに本校では、SDGs の活動を生徒会主催で進めている。生徒自身の活動に加え、講師招いての講演会等も行われた。全校生徒が集まることが難しい場合に備え、音響を含めたＡＶ機器の補充を行った。コロナによる影響を最小限に抑え、生徒と教職員の学びと活動を止めることなく、生徒会の活動及び教職員研修の充実を図っている。



４　成果と課題

一昨年度から生徒がボランティアスタッフジャンパーを着用して様々な地域行事に参加するようになった。以来、生徒たちが醸し出す誇りと連帯感は明らかに目に見えるようになってきた。登下校時に生徒たちが地域の方々と交わす挨拶の声も大きくなってきたと、学校運営協議会や牟礼ミラタクネット（地域協育ネット）でもお褒めの言葉をいただいている。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響でほとんどの地域行事が縮小、中止となり、ボランティアの機会が少なくなってしまったことは大変残念であった。今後も活動の内容や実施方法を工夫しながら、地域の方とのつながりを深めて行きたいと考えている。生徒たちのボランティア活動は、行事を主催する各団体や行事に参加している保護者・地域住民からも好評で、これまで参加していなかった行事への参加要請が来ていたところだっただけに、来年度以降の活動再開を願っている。

一方、中止になっていた各種研修会や研究発表会が Zoom 等を利用したオンライン形式となり開催されたことが、教職員の ICT 機器の利用に関する意識を大きく変えてきている。この度、助成いただいたことで購入したスピーカーや HDMI のコード等を有効に活用し、生徒及び教職員の学びと活動を継続させていきたい。さらに、コロナの影響を受けながらも前に進もうとしている生徒たちと共に、今年度から本格的に始まった SDG ｓの取組を、社会貢献、地域貢献という意識を高めさせながら、新たな牟礼中版 SDGs の活動を継続、発展させたい。そして、地域から愛され、地域に誇りと愛着をもつ生徒の育成をすすめていきたい。